

棒受網漁業 公表用実技試験問題（専門級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着（3分）

ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。

（使用機材） 各自通常使用中の上記装具

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（10分）

①巻結び ②もやい結び ③かえる又結び ④いかり結び ⑤本目結び

（使用機材） 長さ2m、中程度の太さのロープ数本

(2) 漁具の製作（15分）

①アイスプライス ②ショートスプライス ③バックスプライス

（使用機材） 中程度の太さのロープ2本、スパイキ、ビニールテープ

(3) 沈子網の取り付け作業（10分）

網地に沈子網を取り付ける。

（使用機材） 網地、沈子網、網針、網糸、

3. 漁具・漁労機械の操作

(1) ワーピングエンドの操作（10分）

試験官の指示に従いワーピングエンドを起動、停止する。

ロープ20mを足元にコイルする。

（使用機材） ロープ20m、ワーピングエンド（縦ローラー又は横ローラー）

(2) 魚群探知機の映像判断（3分）

魚群探知機の反応画像を見て、操業に必要な情報を読み取る。

（使用機材） 魚群探知機の反応画像・・・大日本水産会が用意

4. 漁獲物の処理

(1) 漁獲物の選別（5分）

棒受網漁業で獲れる魚4種類の写真40枚を見て、魚種ごとに選別を行う。

（使用機材） 上記漁獲物の写真・・・大日本水産会が用意

以上